

環境資源・治山治水に対する見通しは

先日、恵那総合庁舎で森林委員会セミナー第3回の会合があり出席しました。そこで森林の現状や将来の森林管理および森林組合や県などの取り組みについて、いろいろと議論がなされました。そこで市有林や各区有林などの管理とか環境資源としての活用とか治山治水に対する行政のビジョンなどを広報に掲載していただければと思います。またその際、森林税とか環境税といった新税で財源を補てんするという案がありました。市としてはどのような見解がありますか。

（浅見さん・岩村町）

答

旧恵南地区の市有林2836畝のうち人工林が2095畝あり、旧恵那市も生産森林組合などと地上権を結び、公有林緑化市営分収林として147畝を

主にスギ、ヒノキの木材生産林として管理をしています。適切な保育管理をすることで、優良材生産が見込まれ、健全な森づくりとして森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を図るため、森林の整備を目指しているところです。

新税については、森林の恵みを受ける人々が一緒になって森林について考え、行動するための長期ビジョンとして、平成16年3月に岐阜県森林づくり30年構想が策定されました。この構想を県民協働で継続的に推進するため、新たな県民の費用負担が考えられています。林業が低迷している中、森林施業に手が届かなくなり、手入れ不足の山林が多い現状にあります。岐阜県の森林を県民みんなで支え、協働による森林づくりを展開するためには、必要であると考えています。（林業振興課）

健診の回数・時間を増やして

年に2回ほどある婦人検診（乳がん・子宮がん）についてですが、住んでいる岩村町で9月7日にあったので申し込んだところ、いっぱい受診できませんでした。しかも今回、受診時間が短縮されていたので人数が限られたよ

うです。パートで仕事をしていますので、今までは昼の休み時間を利用して受診していましたが、今回はそれもできず、休暇をとつたのに受けられませんでした。（ほかの地区へは時間的に無理で受診できません）検診の回数も少ないのでせめて時間くらい長くして（女性）は受診できる日も限られます（午後1時から2時くらいまで行っほしいと思います。来年度からの日程、時間の検討をお願いします。）

（匿名・岩村町）

答

今までの岩村町の婦人検診は、5月は受診者が多く、9月には受診者が少なく半日分のみでしたので、本年度は5月に1日設定し、9月を半日に計画したところ、思いのほか9月の希望者が多数あり定員を大幅に超えてしまいました。岩村地区での受診希望者全員に受けていただけなくなり、ほかの地区での受診をお勧めしました。ご希望にお答えすることができなく誠に申し訳ありませんでした。次年度については、半日ずつで回数を増やす方法や、午後からの検診などを検討していきたいと思っています。

子宮がん検診については、市内の産婦人科の医療機関検診が11月

28日から平成18年2月3日まで行われます。ぜひご利用いただければと思います。（健康保健課）

防災メールはじめて

防災メールを検討していただけてませんか？ 福岡県で最近始まったそうです。

（十七年度市政モニター）

答

防災メールのシステム導入については、まだ市として導入の計画はありません。岐阜県のホームページ・ぎふポータル（http://www.pref.gifu.jp/）の中に、携帯電話や自分のパソコンで防災情報をメールで受け取ることのできるサービスがありますので、こちらを利用していただけたらと思います。

ぎふポータルのマイページ（http://www.pref.gifu.jp/app/mypage.do）に利用者登録することで、県内の気象情報（暴風雪警報、大雨、洪水、暴風警報）と地震情報（県内で震度4以上の地震が発生した場合）などの緊急情報が発令されると、登録したメールアドレスにメールが届く仕組みになっています。

市としても、このようなサービスがあることを、市民の皆さんに広報などを通じて紹介していきたいと考えています。

（防災対策室）

家の中でも広報聞こえるように

恵那市に住んで3年になります。が、住み始めて思ったことがありますので、書かせていただきます。「広報」が聞こえませんが、窓を開けると、かすかに聞こえる程度で、ほとんど聞き取れません。実家では各家庭に広報の聞こえる機械があります。恵那にもあったらなあと思います。この先、災害など広報が聞こえず、何も知らずに子どもと家にいるのではと不安になります。広報が聞こえるように塔を増やしてもらったり各家庭の機械の設置したりなど考えていただけないでしょうか。以前、突然の断水時には何の情報を得られず大変困りました。よろしく願いします。

（匿名・武並町藤）

防災行政無線については、災害時に必要な情報を市民の皆さんに伝達する機器として、現在市内196箇所に屋外拡声子局を設置しています。旧恵那

市地区についても93箇所設置しています。災害情報伝達以外に、火災予防運動、交通安全週間などの行政情報の案内をしています。ご指摘いただいたように放送の聞こえないところ、聞こえづらいところがあるのは認識しています。各地から同様のご意見があるのも実情です。原因としては風向き、地区内の高低差や建物の高層化、住居の防音技術の発達、エリア外での住宅開発などが考えられます。

このため市民の皆さんからの情報をもとに、難聴地域を解消するためにスピーカーの方向や音声出力の調整などを行っています。既設の防災行政無線では市内全域をカバーするのは難しい状況です。市としては市町村合併を機に、既存の防災行政無線を更新することにも、確実に情報が市民の皆さんに伝達できる方法として、CATVによる告知放送（家庭内有線放送）の導入を検討しています。

また東海地震の警戒宣言や避難勧告などの緊急時の放送については、市内一斉に大音量でサイレンを鳴らすとともに、消防団や広報車などにより巡回放送などを実施します。注意して聞いていただくようお願いいたします。

（防災対策室）

インタビュー



モンゴルの演奏に驚き
近藤 健一くん
（上矢作小学校6年生）
モンゴルの2つの音を一度に出す歌い方など初めてで、ほかでは聞くことができないと思いました。モンゴルの子もたちとは、すぐに親しくなれ、楽しく交流できました。



サツマイモの成長にびっくり
藤岡 愛さん
（吉田小学校5年生）
5月に植えたサツマイモの茎がとても太くなって、掘った芋も大きくなってびっくりしました。掘った芋は、家で焼き芋や天ぷらなどにして食べたいと思います。



根の上高原キャンプに参加
長谷川 彩さん
（東野小学校4年生）
キャンプファイヤーがとても楽しく、根の上高原の自然観察では、いろんな草や花などの名前を知ることができてうれしかった。特に岩ショウブの花があまりない色で印象的でした。



トコトコぼんちゃんに乗車
瀬織 美登里さん
（飯地町）
初めて参加しましたが、ガイドさんの説明でシデコブシなど地域の魅力も再認識でき、山岡町の寒天ラーメン、大正村散策など楽しい旅でした。次は寒天列車に参加したいと思います。